

配水工事設計基準 新旧対照表

頁 表紙	新	旧	備考
	<p data-bbox="486 548 1121 604">配水工事設計基準</p> <p data-bbox="626 1367 982 1482"><u>令和6年4月</u> 神奈川県企業庁</p>	<p data-bbox="1706 548 2341 604">配水工事設計基準</p> <p data-bbox="1846 1367 2202 1482"><u>令和5年11月</u> 神奈川県企業庁</p>	

配水工事設計基準 新旧対照表

頁	新	旧	備考																																																																																																																
1-2	<p>1. 4 管種及び管径の選定</p> <p>(1) ~ (5) (略)</p> <p>(6) 主な鋳鉄管の管厚種別、内面塗装は、つぎのとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="365 443 1246 905"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>口径</th> <th>内面塗装</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S50形</td><td>直管S種</td><td>φ50</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>G X形</td><td>直管1種</td><td>φ75~400</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>G X形</td><td>異形管</td><td>φ75~400</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>N S形</td><td>直管S種</td><td>φ500~1000</td><td>モルタルライニング</td></tr> <tr><td>N S形</td><td>異形管</td><td>φ500~1000</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>T形</td><td>直管3種</td><td>φ75~200</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>K形</td><td>直管1種</td><td>φ300</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>K形</td><td>直管2種</td><td>φ400</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>K形</td><td>直管2種</td><td>φ500~1500</td><td>モルタルライニング</td></tr> <tr><td>K形</td><td>異形管</td><td>φ75~1500</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>U F形</td><td>直管P F種</td><td>φ700~2600</td><td>モルタルライニング</td></tr> <tr><td>U F形</td><td>異形管</td><td>φ700~2600</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>U F形</td><td>直管1種、2種</td><td>φ700~2600</td><td>モルタルライニング</td></tr> </tbody> </table> <p>注) φ400以下の直管について、<u>令和5年度までに執行した工事においては、内面モルタルライニング塗装管を使用していたが、令和6年度以降に執行する工事(令和5-6年度ショート債務及びゼロ県債を含む)</u>においては、<u>エポキシ樹脂粉体塗装管を使用すること。</u></p>	種類	種別	口径	内面塗装	S50形	直管S種	φ50	エポキシ樹脂粉体	G X形	直管1種	φ75~400	エポキシ樹脂粉体	G X形	異形管	φ75~400	エポキシ樹脂粉体	N S形	直管S種	φ500~1000	モルタルライニング	N S形	異形管	φ500~1000	エポキシ樹脂粉体	T形	直管3種	φ75~200	エポキシ樹脂粉体	K形	直管1種	φ300	エポキシ樹脂粉体	K形	直管2種	φ400	エポキシ樹脂粉体	K形	直管2種	φ500~1500	モルタルライニング	K形	異形管	φ75~1500	エポキシ樹脂粉体	U F形	直管P F種	φ700~2600	モルタルライニング	U F形	異形管	φ700~2600	エポキシ樹脂粉体	U F形	直管1種、2種	φ700~2600	モルタルライニング	<p>1. 4 管種及び管径の選定</p> <p>(1) ~ (5) (略)</p> <p>(6) 主な鋳鉄管の管厚種別、内面塗装は、つぎのとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1584 443 2466 905"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>口径</th> <th>内面塗装</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S50形</td><td>直管S種</td><td>φ50</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>G X形</td><td>直管1種</td><td>φ75~400</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>G X形</td><td>異形管</td><td>φ75~400</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>N S形</td><td>直管S種</td><td>φ500~1000</td><td>モルタルライニング</td></tr> <tr><td>N S形</td><td>異形管</td><td>φ500~1000</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>T形</td><td>直管3種</td><td>φ75~200</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>K形</td><td>直管1種</td><td>φ300</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>K形</td><td>直管2種</td><td>φ400</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>K形</td><td>直管2種</td><td>φ500~1500</td><td>モルタルライニング</td></tr> <tr><td>K形</td><td>異形管</td><td>φ75~1500</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>U F形</td><td>直管P F種</td><td>φ700~2600</td><td>モルタルライニング</td></tr> <tr><td>U F形</td><td>異形管</td><td>φ700~2600</td><td>エポキシ樹脂粉体</td></tr> <tr><td>U F形</td><td>直管1種、2種</td><td>φ700~2600</td><td>モルタルライニング</td></tr> </tbody> </table> <p>注) φ400以下の直管について、<u>令和5年度に竣工する工事においては、内面モルタルライニング塗装管を使用すること。また、令和6年度以降に竣工する工事においては、エポキシ樹脂粉体塗装管を使用すること。</u></p>	種類	種別	口径	内面塗装	S50形	直管S種	φ50	エポキシ樹脂粉体	G X形	直管1種	φ75~400	エポキシ樹脂粉体	G X形	異形管	φ75~400	エポキシ樹脂粉体	N S形	直管S種	φ500~1000	モルタルライニング	N S形	異形管	φ500~1000	エポキシ樹脂粉体	T形	直管3種	φ75~200	エポキシ樹脂粉体	K形	直管1種	φ300	エポキシ樹脂粉体	K形	直管2種	φ400	エポキシ樹脂粉体	K形	直管2種	φ500~1500	モルタルライニング	K形	異形管	φ75~1500	エポキシ樹脂粉体	U F形	直管P F種	φ700~2600	モルタルライニング	U F形	異形管	φ700~2600	エポキシ樹脂粉体	U F形	直管1種、2種	φ700~2600	モルタルライニング	<p>・内面塗装の仕様に関する注釈記載を見直した。</p>
種類	種別	口径	内面塗装																																																																																																																
S50形	直管S種	φ50	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
G X形	直管1種	φ75~400	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
G X形	異形管	φ75~400	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
N S形	直管S種	φ500~1000	モルタルライニング																																																																																																																
N S形	異形管	φ500~1000	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
T形	直管3種	φ75~200	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
K形	直管1種	φ300	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
K形	直管2種	φ400	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
K形	直管2種	φ500~1500	モルタルライニング																																																																																																																
K形	異形管	φ75~1500	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
U F形	直管P F種	φ700~2600	モルタルライニング																																																																																																																
U F形	異形管	φ700~2600	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
U F形	直管1種、2種	φ700~2600	モルタルライニング																																																																																																																
種類	種別	口径	内面塗装																																																																																																																
S50形	直管S種	φ50	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
G X形	直管1種	φ75~400	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
G X形	異形管	φ75~400	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
N S形	直管S種	φ500~1000	モルタルライニング																																																																																																																
N S形	異形管	φ500~1000	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
T形	直管3種	φ75~200	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
K形	直管1種	φ300	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
K形	直管2種	φ400	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
K形	直管2種	φ500~1500	モルタルライニング																																																																																																																
K形	異形管	φ75~1500	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
U F形	直管P F種	φ700~2600	モルタルライニング																																																																																																																
U F形	異形管	φ700~2600	エポキシ樹脂粉体																																																																																																																
U F形	直管1種、2種	φ700~2600	モルタルライニング																																																																																																																

配水工事設計基準 新旧対照表

頁	新	旧	備考								
1-11	<p>1. 12 流量計</p> <p>配水区域内の<u>水需要の変動に対応して</u>、適切な水量を管理するためには、<u>配水管網内の主要箇所</u>に流量計を設置し、流量の把握を行う。流量計の設置にあたっては、つぎのことに留意する。</p> <p>(1) 設置箇所は、配水ブロックの入口や主要管の始点、<u>主要な</u>分岐箇所とする。</p> <p><u>(2) 流量計の種類により異なるが、流量の測定範囲を明確にし、適切な口径を選定するとともに配管の前後には、流量計の種類に応じた所定の直管部を設ける。</u> また、<u>電磁流量計など保守点検や更新時に断水が必要な場合、バイパス管及び流量計の前後に仕切弁を設置する。</u></p> <p><u>(3) 変換器や指示計及び積算計等を収納する計装盤は、記録の回収、装置の保守点検等が容易な道路交通に支障の無い場所に設ける。</u></p> <p><u>(4) 流量計検出部は、ピット内に雨水、地下水等が溜まり水没すると、維持管理面で問題となることあるため、水中型などの環境条件に応じた仕様とする。</u></p>	<p>1. 12 流量計</p> <p>配水区域内の適切な水量、<u>水圧</u>を管理するためには、流量計を設置し、<u>流量、動水圧</u>の把握を行う。流量計の設置にあたっては、つぎのことに留意する。</p> <p>(1) 設置箇所は、配水ブロックの入口や主要管の始点、分岐箇所とする。</p> <p>(2) 記録装置は、記録の回収、装置の保守点検等が容易な道路交通に支障の無い場所に設ける。</p> <p>(3) 流量計の種類により異なるが、流量の測定範囲を明確にし、適切な口径を選定するとともに配管の前後には、次表のとおり所定の直管部を設ける。また、電磁流量計など保守点検や更新時に断水が必要な場合、バイパス管や前後の仕切弁を設置する。</p> <p>《流量計の種類》</p> <table border="1" data-bbox="1507 1010 2594 1146"> <thead> <tr> <th data-bbox="1507 1010 1659 1083">種類 項目</th> <th data-bbox="1659 1010 1970 1083">超音波流量計</th> <th data-bbox="1970 1010 2282 1083">電磁流量計</th> <th data-bbox="2282 1010 2594 1083">タービン式流量計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1507 1083 2594 1146" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 直管部が短い場合は、電磁流量計が適しているが、大口径になると高価になる。小口径には経済的に有利なタービン式流量計も使用される。 超音波流量計は、精度が高く経済性及び保守性に優れ、既存の管の外側に不断水で取り付け可能なため、主流となっている。</p>	種類 項目	超音波流量計	電磁流量計	タービン式流量計	(略)				<p>・項番及び表記を修正した。</p>
種類 項目	超音波流量計	電磁流量計	タービン式流量計								
(略)											
1-12	<p>1. 13 排水設備</p> <p>(略)</p>	<p>1. 13 排水設備</p> <p>(略)</p>	<p>・1. 13以降、ページ番号繰り上げ</p>								